

紙一重が勝負

サービス業である私達は、「紙一重のサービス」を提供できているのか、世間で試されています。紙一重は当然紙、一枚上を提供することです。

このため、自分の心構えと行動が必要になる。先ず自分が「商品」であることを本心に自覚することである。

当然、プロとして偽りや嘘は、欠陥商品の最たるもの即退場です。市場から、自ら退場すべきです。

仁義や商業道徳に反し、後ろ足で泥を懸け、自らの正当性を主張しようとする利己的組織は社会に害毒を垂れ流す、放射性セシウム以外の何ものでもない、諸悪の元凶であります。「義なくして利なし」である。これがまったく分からない大会社が多い、この頃だ。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年7月21日(木) NO. 212

地域から明るい未来を作ろう

相手に届き、伝わるのは、せいぜい三つ程です。ポイントを絞り、相手が分かっているかは、帰ってくる質問や見て話していればすぐ分かります。簡単に納得しない質問が、聞く者を鍛え

お盆休みは・8月15日~16日

最近、仕事で深夜から朝までラジオを聞くことが多い。どうしても考えて聞いている。マスコミTV、特にNHKの偏向報道に怒りを覚える。今頃、受信料を徴収し、戦後続いた自民党政権時代より、ある特定の勢力を保護する偏向報道は、「大本営発表」だ。

地デジとラジオ

のようですが、「東電」や「九電」の体質と、変わらない。意図的なTV偏向報道です。金と、脳細胞をNHKに犯され

ラジオは音だけの世界、聞き反芻する時、真理を多く含んでいる。



東京地検の愚

この国の政治状況をゆがめた東京地検特捜部による小沢弾圧の実態が、裁判を



通じて白日のもとにさらされつつある。特捜部の片棒を担いで小沢バッシングを続けてきたマスメディア各社は、「小沢無罪」を想定し、少しずつ軌道修正をはかり始めた気配がある。たとえば、7月4日の日経新聞一面コラム「春秋」は、「小沢一郎氏の元秘書らを調べた検事たちは入門からやり直すしかあるまい。：裁判所も腹に据えかねたとみえる」と書いた。過去の記事や放送への反省や謝罪をせずに、いつの間にか責任をどこかに転嫁して自らを正当化するのがメディアの常套手段である。

一新 恭一

原発の安全神話と金銭・利権に深く係わった責任を、全く果たしていません。記者クラブ自体に問題がある。立派に日本衰退の一翼を担っています。

ラジオは音だけの世界、聞き反芻する時、真理を多く含んでいる。